

編 集 後 記

本誌の編集委員を拝命して、もう4年を過ぎようとしています。本誌は電子ジャーナルとなり、順調に投稿数を維持しています。従って、編集委員は、毎日査読に追われる日々であります。本誌の掲載内容は日本の臨床神経学の診療レベルを反映している雑誌であると考えています。従って、今後も会員の皆様からの貴重な投稿をお待ち申し上げますので、よろしくお願い致します。

さて本誌は、筆頭著者が若い会員である症例報告が多いことが特徴の一つですが、4年前に比較すると、投稿規定を遵守し、考察の論理的思考展開が理解しやすい論文が増えてきたとも感じ個人的には喜んでます。

しかし、最近査読していて危機感を持ったことがあります。日本の最近の社会動向として、本年5月に個人情報保護法が大きく改正されています。この改訂に伴い、臨床研究や遺伝子関連の遵守事項が厳格になっておりますが、患者情報についても、従来とは異なり「病歴」は新たに「要配慮個人情報」として規定され、その扱いに十分な留意することが求められています。この点から「匿名化」は従来よりもより一層の配慮が必要です。最近、投稿された論文

に、この配慮がいささか不十分である記載があり、正直「もし、この点がチェックから漏れて、このまま掲載されたら、学会誌・学会自体の姿勢そのものが問われる事態にもなりかねないので、リスクだな」と感じたことがありました。確かに、今でも文献検索や引用論文の読解がやや不十分である報告も少数ではありますが存在し、その修正に頭を抱えて四苦八苦する査読（基本的にリジェクトするのではなく、大幅改変でも投稿への道を残すようにしていますので…）も時にあります。しかし、これら「不十分な記載」とは根本的に異なり、この不十分な「匿名化」という問題は、法律の遵守事項であり、危機意識をもった次第です。どうか、若い会員におかれましては、個人情報保護法が改正され、十分な「匿名化」についての配慮が法律として求められている時代ですので、この点を十分に念頭に置き、投稿規定に準拠した論文を十分にご推敲なされてからご投稿されることを切にお願い申し上げます。

会員の皆様のご発展をお祈りして、編集後記とさせていただきます。

(亀井 聡)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 小野寺 理 亀井 聡
 鈴木 匡子 坪井 義夫 新野 正明 西野 一三 星野 晴彦 三澤 園子

「臨床神経学」 第57巻 第9号 平成29年9月1日発行
 編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 高橋 良輔
 印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>